



おおとりっ子 No.1

平成 28 年 4 月 28 日 発行

変化の激しい時代である。このような時代にたくましく生きる（主体的かつ協働的に課題を解決していく）子供を育てることが学校の責務と考える。そのために、まず、子供たちに寄り添い、夢やねがいにしっかりと耳を傾け、共に「学び」「喜び」「悲しみ」「励まし」合いながら師弟同行の精神を忘れずにいる教師であることが大切である。そして、それを見守る保護者や地域の方々の思いを大切に、アンテナを高く持つことで思い込みや今までの常識を見直すことができ、開かれた学校、信頼される学校になると考える。日常の積み重ねの中にこそ感動があり、奇跡を呼び起こすことができる。日頃の何気ない生活の中で子供のよさを見付け、子供と共感できる教師集団を目指していく。

これは、先日の総会で配布した学校経営方針から抜粋したものです。今後も、この気持ちを忘れない教師集団として「おおとりっ子」と共に成長していきたいと思えます。そこで、今後、日常の何気ない児童の姿を中心にたよりとして紹介していきますのでよろしくお願ひします。

◇入学式準備でのことです。

6年生がしている仕事を紹介します。体育館の掃除をする。机や椅子を出し、並べる。机に白布をかぶせ、長さを調整する。ステージに日の丸を掲げる。紅白幕を体育館の周りに吊るす等々。子供たちは黙々とそれぞれが働いています。準備ですから当たり前のことです。でも、先生の指示の言葉がほとんど聞こえません。子供たち同士で「ここ少し傾いているよ」「汚れたところは見せないようにしよう」と声を掛け合いながら働いています。そこに低学年の子が自分たちの椅子を並べにやってきました。紅白幕を吊っていた児童が、体育館に入りやすいようにと、さっと幕を上を持ち上げています。



—入学を祝う会（古城公園にて）—

◇今年

例年より早く桜の花が咲き誇り、その花も風に吹かれて道路や歩道の上を舞っていました。児童会の体制がまだ整っていません。そこへ、竹箒をもった子供たちがすすんで花びらを集め掃除を始めます。無駄話もせずに、協力して花びらを集めゴミ袋に入れています。

◇休み時間になりました。

6年生の児童が1年生の児童の手をつなぎ、楽しそうにジャングルジムまでやってきました。ジャングルジムと一緒にのって笑顔でおしゃべりをしています。また、1年生がのったブランコを優しく押している6年生もいます。

◇朝のあいさつ運動、

運営委員会が中心になって行っています。役割分担を行い、すすんであいさつを交わしています。それに応えようと登校してきた児童たちもしっかりとあいさつを行います。中には、まだ小さな声で言ったり、下を向いたりしている児童もいますが、きっと元気なあいさつの輪を広げてくれることでしょう。

ホームページが新しくなります

ホームページから子供たちの姿をより多くお伝えできるようにブログ形式のホームページにします。今後、少しずつ中身を充実させていく予定です。以下のアドレスから見るができますので、是非ご覧ください。

<http://hiramai-e.el.tym.ed.jp/>



遊びのコーナー

中に動物が隠れています。何匹見つかるかな？

(※ホームページでは省略します)

(トラ、うし、メスのライオン、アヒル、やぎ、リス、ねずみ、コウモリ)